

# ★7月重版情報★

# 小山正見句集『大花野』

**17音の俳句が、介護の悩みを軽くする!!**

短い言葉だからこそ、心に響く認知症介護者の思い。

「生き方」の本として話題の1冊!

介護関連コーナーに置くことで  
売れ行き増になります!

「朝日新聞」全国版(5/29)  
朝刊の「俳句時評」ほか、  
各紙誌で絶賛の声続々!



## の現在地

阪西 敦子

句には新たな光が向けられつつある。吉田林檎の句へコート着る着ない無理やり着せにけり。コートを着るか着ないかさえ親とは違つ思惑で動く子の姿を描きながら、親の愛と苛立ちの入り交じった行動に、複雑な現実を映し出す。

「あなたのは」とばかり訊く妻さくらんぼ。「あなたのは」で、何もかも二人で分かち合つて来た道のりを示す一方で、「ばかり訊く」のもどかしさ。状況を知らずともずれ違いがあることを感じさせ、一対で実るさくらんぼが本来持つ楽しい姿とのアンバランスさが胸に迫ってくる。

「また一つ星を消したる朧かな」。さつきまで見えていた星が滲んで消える。記憶や理解を失つていく妻を介護する中で見いだされた景だろう。作者は、認知の力が減るといふ新たな現実を、摂理のひとつとして静かに提示する。(俳人)

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRCより全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。(了解者 JRC 宮尾)

ご注文申込書	貴店名・帳合	注文数	発行 朔出版 電話・FAX 03-5926-4386
			句集 大花野 小山正見 著 <b>7月中旬重版出来!</b>
			四六判 / 上製 / 48頁 / 定価: 1650円(本体1500円+税10%)
		冊	ISBN978-4-908978-73-9 C0092